

子どもが大きくなるために大切なこと

児童福祉施設においても大切にしていますが、集団生活では同じ人がずっと一緒にいることが難しい場合もあります。じっくりゆっくり関わってくれる「週末里親」の存在が子どもたちの大きな力となります。

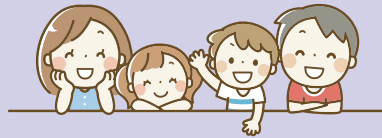
同じ人が関わり続けること

「自分を受け入れてくれる」
「このままの自分でいいや」
という安心感につながります。
そうすることで、子どもの自己肯定感が高まります。



「家庭」で過ごすこと

将来、自分が家庭を築くときの見本・手本を知る機会となります。
このようにモデルと出会う中で家庭生活のイメージが持てるようになります。



「家庭生活体験」を積み重ねること

生活に必要なことを自分の力にする機会となり、生活する力がつき、将来の自立につながります。



週末里親についてよくある疑問にお答えします!!

週末里親Q&A

Q どんなことをするの？

施設に会いにきてもらったり、お泊りしたり……
家庭での「ごく普通」の経験をさせてあげてください。

Q 子どもの年齢や性別は希望できるの？

施設から自宅までの送迎方法やご家族の状況に合わせて、希望をお聞きしながら、子どもとのマッチングを考えます。

Q 週末だけなの？

学校に通っている子どもの場合は、月1~2回の週末のお泊りのほか、夏休みや年末年始だけというご家庭もあります。
幼児の場合は平日のお泊りとされているご家庭もあります。

- 大阪市では、週末里親の活動費として1日1,600円、往復の送迎謝礼として1回1,000円をお支払いしています。また、活動中の事故等に対応する賠償責任保険や傷害保険に加入しています。
- 週末里親事業は、大阪市子ども相談センターと施設の担当職員が連携して活動支援を行っています。